

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 16 日(2024.12.16)

【公開番号】特開 2023-70718(P2023-70718A)
【公開日】令和 5 年 5 月 22 日(2023.5.22)
【年通号数】公開公報(特許)2023-093
【出願番号】特願 2021-182983(P2021-182983)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、
可変表示が実行されるよりも前に、該可変表示が前記有利状態に制御されることを判定可能な判定手段と、
前記判定手段の判定にもとづいて、判定の対象となった可変表示よりも前に前記特定表示の表示態様を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、を備え、
前記特定表示手段は、前記変化演出が実行されない所定パターンよりも、前記変化演出が実行される特定パターンの方が、該変化演出の対象となった特定表示に対応した可変表示において、該特定表示を長い期間において表示可能であり、
前記特定表示が短い期間において表示された場合よりも、前記特定表示が長い期間において表示された場合の方が、前記有利状態に制御される期待度が高く、
前記判定の対象となった可変表示よりも前に前記変化演出が実行されずに前段階演出が実行された場合に、前記判定の対象となった可変表示よりも前に前記変化演出が実行されて前記前段階演出が実行されない場合よりも、前記判定の対象となった可変表示において前記特定表示を長い期間において表示可能であり、
可変表示に対応する対応表示を表示可能な対応表示手段と、
前記対応表示の表示態様を、第 1 態様から第 2 態様に変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、
前記変化演出の実行が開始された以後に、前記第 1 態様に対応した履歴示唆演出を実行可能な履歴示唆演出実行手段と、をさらに備える、
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 2】

50

パチンコ遊技機等の遊技機として、先読み予告として保留等変化演出を実行可能であり

、変化した保留表示が、アクティブ表示となったときにその変化が引き継がれる演出を登録する遊技機が提案されている（例えば特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１７－８６７８５号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

（１）可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、

可変表示が実行されるよりも前に、該可変表示が前記有利状態に制御されることを判定可能な判定手段と、

前記判定手段の判定にもとづいて、判定の対象となった可変表示よりも前に前記特定表示の表示態様を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、を備え、

前記特定表示手段は、前記変化演出が実行されない所定パターンよりも、前記変化演出が実行される特定パターンの方が、該変化演出の対象となった特定表示に対応した可変表示において、該特定表示を長い期間において表示可能であり、

前記特定表示が短い期間において表示された場合よりも、前記特定表示が長い期間において表示された場合の方が、前記有利状態に制御される期待度が高く、

前記判定の対象となった可変表示よりも前に前記変化演出が実行されずに前段階演出が実行された場合に、前記判定の対象となった可変表示よりも前に前記変化演出が実行されて前記前段階演出が実行されない場合よりも、前記判定の対象となった可変表示において前記特定表示を長い期間において表示可能であり、

可変表示に対応する対応表示を表示可能な対応表示手段と、

前記対応表示の表示態様を、第１態様から第２態様に变化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、

前記変化演出の実行が開始された以後に、前記第１態様に対応した履歴示唆演出を実行可能な履歴示唆演出実行手段と、をさらに備える、

ことを特徴とする遊技機。

他の発明に係る遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示に対応する特定表示を表示可能な特定表示手段と、

可変表示が実行されるよりも前に、該可変表示が前記有利状態に制御されるか否かを判定可能な判定手段と、

前記判定手段の判定にもとづいて、判定の対象となった可変表示よりも前に前記特定表示の表示態様を変化させる変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、を備え、

前記特定表示手段は、前記変化演出が実行されない場合よりも、前記変化演出が実行された場合の方が、該変化演出の対象となった特定表示に対応した可変表示において、該特定表示を長い期間において表示可能であり、

前記特定表示が短い期間において表示された場合よりも、前記特定表示が長い期間において表示された場合の方が、前記有利状態に制御される期待度が高く、

前記判定の対象となった可変表示よりも前に前記変化演出が実行されずに前段階演出が実行された場合に、前記判定の対象となった可変表示よりも前に前記変化演出が実行され

10

20

30

40

50

た場合よりも、前記判定の対象となった可変表示において前記特定表示を長い期間において表示可能である、
ことを特徴とする。

このような構成によれば、判定の対象となった可変表示の実行前と実行中とで変化後の特定表示が跨って表示され、変化している場合のほうが特定表示を長く表示するため、変化するか否かに遊技者を注目させることができ、遊技興趣を向上させることができる。

10

20

30

40

50